

福井大学附属図書館所蔵の古典籍(1)

雪国大百科全書『北越雪譜』

留学生センター助教授 膽 吹 覚

いぶき・さとる

『北越雪譜』(ほくえつせきふ)は、江戸時代に出版された挿絵入りの雪国大百科全書です。越後の国(現在の新潟県)の塩沢に住む鈴木牧之(すずきぼくし・1770 - 1842)が書きました。

この本は初編3巻3冊と第2編4巻4冊とから成ります。その初編には顕微鏡で見た雪の結晶をはじめ、雪の中に生きる虫たち、雪崩や吹雪やつららの話など、今日の自然科学に関することをはじめ、雪国に生きる熊や鮭の生態といった生物学に関すること、越後縮などの伝統産業に関すること、雪の中の幽霊の話といった怪奇現象といった文化人類学の話など、雪にまつわるありとあらゆるエピソードが掲載されています。そして、その第2編は春夏秋冬に分けて、里人の風俗習慣や年中行事など、雪国の生活全般が描かれています。

本学附属図書館所蔵の『北越雪譜』は、残念ながら、その第2編のみで、その初編がありません。初編は、江戸後期の天保6年(1835)に刊行され、700部を超えるベストセラーとなり、そこで第2編の出版ということになったわけです。

本学所蔵の第2編の書誌を記しますと、資料番号は388/SUZ。4巻4冊本。寸法は縦25.7cm×横18cm。印記は、各冊第1丁表に「詠善堂図書」(方形朱印)、第1冊刊表紙見返しに「福井大学図書館印」(方形朱印)が捺されています。表紙は薄墨色の背景に雪の結晶と思われる模様が散らされています。この表紙の色は、もちろん、雪を降らせるどんよりとした空のイメージです。冬になると、みなさんが毎日のように見ている、あの鉛色の空です。そして、その

空から舞い散る雪が、結晶の形で、美しく表紙に描かれているのです。工夫を凝らしたお洒落な表紙です。表紙の表紙左肩部には刷り題簽があり、そこに隷書体で「北越雪譜」とあります。

表紙の見返しは、その周囲を何種類もの青色の雪の結晶で囲んでいます。これも雪の大百科全書ならではのデザインといえるでしょう。『北越雪譜』は、現在では岩波文庫をはじめ、その翻刻や現代語訳が数多く出版されていて、一般にも容易に手にすることができます。しかし、本書が出版された当時、江戸時代の『北越雪譜』でなければ、こうした雪を意識した装丁の美しさを楽しむことができません。古典籍の楽しみのひとつは、まさにここにあるのです。

さて、表紙見返しには、次のようにあります。

北越雪譜 二編四巻

越後 鈴木牧之編撰

江戸 京山人百樹増修

京水百鶴画図



表紙



第一冊表紙見返し

天保辛丑新刻

書肆 文溪堂発販

この記事によりますと、『北越雪譜』は鈴木牧之が書いた原稿に、江戸の山東京山が添削補筆し、絵は牧之が書いた絵をもとに、京山の弟子の画家、京水が書き直したものを掲載したことがわかります。「天保辛丑」は、天保12年（1841）です。江戸の文溪堂という本屋が販売していました。初編も同じく文溪堂から出ています。刊記は第4冊後表紙見返しに、

天保十三年壬寅孟春

心斎橋通順慶町

全志発行書林 大坂 堺屋新兵衛

心斎橋通博労町

河内屋茂兵衛

江戸 小伝馬町三丁目

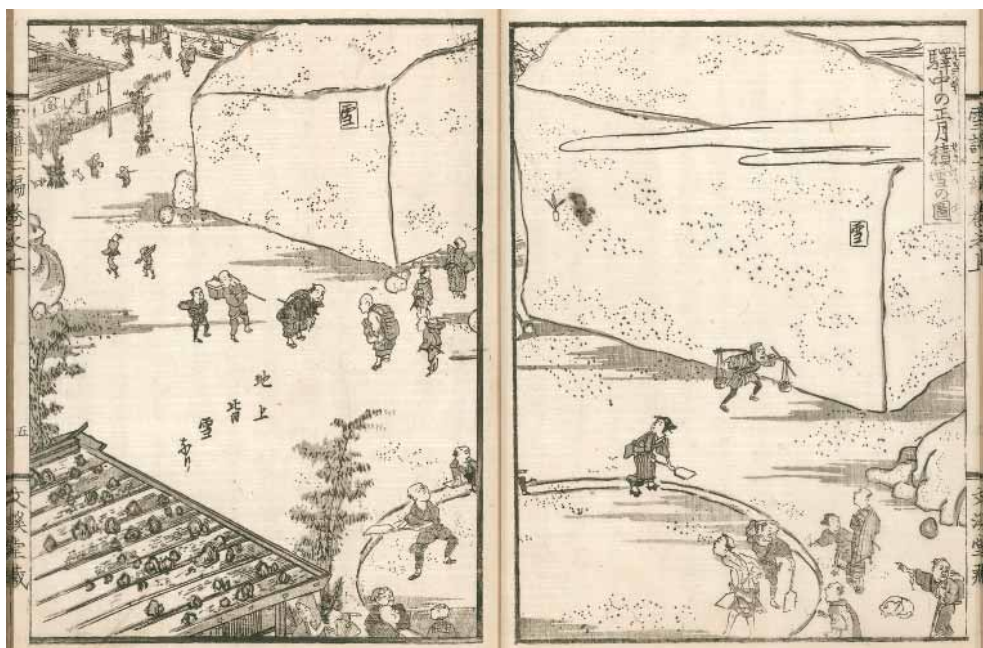
丁子屋平兵衛蔵版

とあります。

『北越雪譜』第2編は、その第1巻が春、第2巻が夏、第3巻が秋、第4巻が冬という構成になっています。その中から春の巻の内容を少しご紹介しておきましょう。

掲載した挿絵は、その右肩部に「駅中の正月積雪の図」とありますから、正月の景色を描いたものであることがわかります。絵の上部には人の背丈の5

倍はあろうかという雪の壁がそそり立っています。絵の左中央部には「地上皆雪なり」ともあります。絵の中央部には、旧知の中であった武士と僧侶が思わぬところで出会って、年頭の挨拶を交わしています。絵の中央下部にはまるで雪で作った土俵のようなものが見えます。よく見ると、羽根突きをしている様子。しかし、何か変ですね。そう、羽根突きをしているのは子どもではなく、いい年をした男女ではありませんか。しかも、この寒空に上半身裸の男もいます。これは、牧之の説明によりますと、越後の羽根突きの羽根は、空木（うつき）の幹の空洞部分に山鳥の尾を3本差し入れたもので、江戸でみかける一般的なものの数倍はある巨大な羽根を使用したそうです。そして、この巨大な羽根を突く羽子板は、なんと掘木鋤と（ほりこすき）と呼ばれる雪かき用の木製スコップ。これでは子どもが遊べるわけがありません。ですから、お神酒で少し体の暖まった男たちが、力にまかせて、この巨大な羽根を天高く突き上げるのです。落とした人は、罰ゲームとして、雪のなかでもみくちやにされます。もちろん、越後にも江戸のように子どもが遊べるかわいい羽子板もありましたから、ご安心を。幼い子たちはそれで楽しんでいました。



駅中の正月積雪の図